

章番号	項目番号	記載されている内容
1	1	利用者ご本人がご利用しているサービスは何ですか(複数あれば全て選択してください)。 ⑦その他(パーソナルサポートセンターほけつと行動援護、移動支援)
1	5	法人が発行している会報「はるにれ」をご存知ですか 年発行数は知りませんが、いただいた時は読みます。話題は厚田の方が多いのね ①毎号よんでいる(たまにいただくので読む(話題は厚田の方が多いのね(年何回発行しているかわからない)
1	6	今ご利用している事業所に家族会があるかご存知ですか まだ家族会がない
2	1	普段のサービスで気になることはありますか 身だしなみについては、気配りしてもらっているようです。服装について、冬期は、もう少し暖かい服装にしてみたいと思います(季節に合った下着など)。 排便、排尿に自己規制をかけて、したい時にできなくなっている(時に家の外で) 靴下に穴があいていないか。季節に合った服を着ているかなど。 細やかに見ていただいています。気になることはありません 上記すべてが気になりますが、パニックを起こした時の状況が特に気になります。 グループホームにおいて服装を選ぶ際、年齢やTPOに合ったものを着せて欲しい 部屋の掃除とシーツの替えがないこと 食事、排せつが附従なため、職員の方には大変お世話になります グループホームにおける、個室での発作の早期対応 言葉で自分の気持ちを伝えられないため、いらした時に人をたたいたり物に八つ当たりして壊したりしないか心配になります 十分によいサービスを受けられていると感じていますが、数年に一度でも旅行など行けたら本人もたいへん喜ぶと思います。(家族が付き添ってでも…) てんかん発作があるので、発症状況が心配です。 姿勢が悪い。口をぼかんと開けていることが多い。本人の自覚がないので職員の方からその都度声掛けしていただけるとありがたい。 入所したばかりなので本人が不安に思っていないか?若くて成長期なので体調管理、特に肥満です。体重が増え小さくなった衣類を着ていないか?虫菌になっていないか?等々が気になり ・外出時に、少し気を使ってほしい(きれいな物を着せてください) ・つめ、耳あか取りをさせないので親がしているのですが、今後は、看護師さんがやってくれるとありがたいのですが(親が老いて、帰省しなくなった時の場合です) 季節ごとに服装を見て一言注意してください ①②③この3点については、職員も気を付けて下さっていると思いますが、改めて気を付ける様 にお願いします。 突然女の子などに接触しようとする 時おり、えりがおれていたり、カバンのベルトがひっかかったり、自分の家族と思えば何げに注意するはず、GH利用者のパジャマ等の穴がひどい。改善を求む。 体の細部のケアについて(例えば耳の中、鼻毛、足の裏など) 今は帰省時に気が付いて行う こともあります、将来的には全てをお願いする事になりますので、職員の方の異動時には、細 かい引継ぎをお願いしたいです。私達が当たり前に出来ている事が、自分に必要があると気付 かずにそのままとってしまうので、何が必要かを一緒に見つけていただけると有難いです。 密に連絡を取っている訳でないのもう少し子供の様子を知りたいです。園に居る時の服装等 も気になります 本人が楽しんで、行っているか多少不安があります。障がいの度合いがそれぞれちがうので、 他の方の奇声→全体的に、にぎやかな所 会に行ったら靴の底が減っていて歩き方が変わったので靴を見たら底が変形して買って あげたので季節ごとの服装や履物に気をつけて欲しい グループホームに居ます。本人が選択をしているのであまり上手に選択が出来ていないよう に思います。清潔感は大切なので職員の方も大変とは思いますが当たりまえの指導して欲しいと 思います。(洗濯専門の方がいたらよいです) 日課にメリハリがないのか一日の中で本人の楽しみが少ない。入所して半年後に面会できたが オーム返しが増えていた。刺激が少なくソファにただ座って時間をつぶしている状況。支援の 段階なのかもしれないがこのままでいいの不安と心配がある。服も衣替えし持ち帰ったが、他 の利用者の物が混じっていた。男性職員には難しいのかもしれない。 ①室内の適切な温度・湿度管理 ②布団などの清潔に保つこと 服装、身だしなみは最近かなり良くなりました。特に外出、帰省の時などは細かなチェック(洋 服、持ち物、くつなどの汚れを点検してほしいです) 常に職場とのつながりや仕事の失敗がないか等心配になりますが、月一回の「あるば」からの 「フォローアップ記録書」により詳細に状況を知らせてくださるので大変心強く思っています。 不安が強いためでしょうか?支援員さんの言葉の強弱に強く反発しそれによって「拘り」が発生 問題ない、と言われることが多いが、本当でないのだろうか疑問。 外出時に排便の様子を見ると、どのような指導がなされているか気になる(何もしていな 最近2回の面接時、髪の毛がベタついていたので、入浴回数が減っているのではないかと心配 史跡の除去をお願いしたい(帰省時時々見受けられる)。かかとのヒビ割れについて薬の塗布。 季節の变りの時の衣類への配慮 いつも丁寧支援していただいており感謝しています。入所なのでやむを得ない部分がありま すが、運動不足による太りすぎが気になります。 既設に合った服装を本人は選べない。歯の状態が心配 本人の「性格の特性・能力の限界」(この部分は親、特に母親から問いかけていただきたいと 願っています)を職員の先生方は日常的にどう捉え、どう理解して接して下さっているかと、いつ 自分で考え自分のことはしていたのですが(帰省中)言われないと薬ですら飲まないようになっ て来ている。考えてする前に先にすることを言うてしまうのもどうかと… あたたかい日と寒い日の洋服

章番号	項目番号	記載されている内容
2	2	不安に感じることはありますか
		本人に対して職員同士の連携が出来ているのか？心配です
		比較的良くみてもらっていると思います
		能力に合った活動というよりも、本人がやりたい事などを伝えられないので、活動を楽しんでいるのが分からない。本人の意思を汲み取るためにも活動の選択肢を増やして欲しい。
		作業をするようにお願いして少しずつ支援計画に基づいてやる方向に進んではいるが(本人に無理がないようにという理由で)作業を行う状況になるまでに時間をかけすぎているのではと思っています。どんどんやらせてほしいです。
		新しい職員に変わった時など
		職員人事異動時における利用者に対する職員の特定(氏名等の提示)の十分性
		意思表示(言葉も態度も)が苦手なので、親でさえ、本心をつかみづらいので…
		事業所職員の方は、一生懸命に利用者へ取り組んでおり、日々、感謝しています。
		本人の持っている能力がうまく引き出していただけるといいと思っています
		ジョブコーチをつけるとか、外での仕事、短時間でも出来ないものでしょうか。例えば、食器洗いとか、掃除とか…
		現在生活介護を利用し作業能力をつけているところではありますが、将来的にはB型の作業所へ移行したいと考えていて、本人に向いている作業があれば具体的に知りたいと思っています
		他の利用者に触ろうとしてトラブルになること
		生活介護においての作業であるが、すべて入っている作業をやっているのだろうか。目をつむっても出来る年に合わない作業もある。牛乳のパック切りなど小学生並みではないか。本人の現在あるスキルが生かされていない。
		会話は難しくても、相手の笑顔は好きははずです。相手が不安そうだと、本人も不安になります。自分にも言える事ですが、笑顔で対応が良いと思います。
		子供の様子をもう少し頻りに知りたい
		冬の通勤が不便だということです。人間も歩ける道になるといいのですが(車優先でなく)。石狩市も就労の子どもたちが通っていることを理解してほしい。
		不安はありません。助かってますよ
		本人は自分の能力が生かされてないと思っているが、親としては、本人が就労が続くのが心排泄面で拭きとりは不十分だがウオッシュレットは使用できていた。入所後水のこだわりがある人に合わせウオッシュレットは使えず、今度は棟が移りトイレをつまらせる人がいると水洗機能もとめられた。他者のために本人の能力はおとしていくのが支援なのか疑問に思う。担当の職員は忙しい業務の中一生懸命働いてくれているのがわかるので言えない。このようなことを誰に相談していいのかわからない。薬の使用も知りたい。
		利用者が過ごしていて良かったと思える取り組みのみを。【いつもと同じような形だけでなく、ちょっとしたアイデアも入れるなど】
		今は職員さんとの信頼関係が出来ているようで明るく話をしてくれます。明るいことばかけがとてうれしそうです。
		上問と同じく不安の強い利用者には職員の言葉の強い(命令的)弱いに気を付けて欲しい
		自分の気持ちや考えを就労先に伝える、あるいは事業所職員を通して伝えていただくことができているのだろうか。表面上のことは伝えられるし軽口もきくようではある。
		最近、帰宅して発熱することが多く、その時にケアホームに帰りたくないと言うことがある。
		職員の方に慣れていないような態度をとるのを見ると、普段どうなっているか不安になる
		利用者は、バカはバカになっていけば一番いいです。
		パニックなどで皆様に迷惑をかけることがないよう、いつも祈っております。
		概ね良好と感じています
		民間就労の場合、はるにれの職員等と意見交換の場があれば良い。他の事業所(福祉)の人で仕事をしているきのこ村の情報がない
		毎年担当の先生が交代し覚えたころに辞める先生が多い
		先生方がせっかく考えて下さっているサービス(支援計画)がより効果的になるよう、計画案作成時点で親との話し合い(情報の相互交換提供)の「場」と「機会」を是非設定できませんか(先生の「案」が説明もなく郵送捺印を求める現状は親として納得いきません)
		薬をたくさん内服している
2	3	支援計画について
		①満足→計画倒れにならぬ様に実施して下さい。
2	4	利用者がどのように過ごされているか状況を知っていますか
		①知ってはいるが、現況に満足はしていません。
3	3	力を入れて欲しい事業はありますか
		体験宿泊、レスバイト
		本人に適した作業をさせて欲しい
		グループホームでの生活に力を入れてほしいのと同時に、地域の行事に参加するなどの活動にも力を入れてほしい。
		今は親と一緒に暮らしですが、いずれはグループホームでの暮らしをと思うので
		重度の方が多いので、保護者が支援困難な状況になった時、いつでも相談できたり一時預かりができるとうありがたい
		自閉症の特性に特化した携帯のGHの設立。今は通所先での対応にとても満足していますが、親亡きあとのことが心配。法人に全てお任せではなく、親にもなにかができるかともに考え歩いてグループホームの体験が可能になると良いと思います
		今のところ特にありません
		余暇活動を通じ、又は旅行会等イベントを通じ、利用者本人の行動特性を把握するなどし、それらを非常時の訓練と位置付けし、災害時等の対応に備える方策の実施
		グループホームの継続運営を宜しくお願いします。
		地域で生活し労働し、余暇活動を楽しみ明るく生活して欲しい

章番号	項目番号	記載されている内容
		ケアホームで生活していて、土日のケアーとして、ディケアの出来る場所が、地域にあるといいなーと思っています。法人で、地域に1ヶ所何か所かのCHの利用者で使える場所
		国の政策で左右される福祉事業ですが子供たちのため頑張ってください。
		本人のことで相談したことが起きた場合、相談室とは別にそれぞれの通所先で対応する人を決めてもらえたらと思います(大体は相談に乗ってもらえてますが)
		土日の余暇活動は、親が主体になっていないか。本人が希望する物に対して安全パイが働きすぎ。多少のリスクはしかたないのでは。でないと本人の希望が叶えられない。利用者の能力をもっと高く評価すべき
		散歩かドライブ、外食等本人が楽しめる事を増やしていただきたいです
		将来的にはグループホームを考えています。いつ頃どのようにさせたらよいか悩んでいます
		地域で暮らすためにグループホームの近くに活動センターがあり見守り他の活動ができると安心
		年齢が上がるにつれて高齢用施設を考えて欲しいが親も生活が大変だし…。法人の方で何とかしていただけたらいいな！と思っています
		体力がある利用者には冬の除雪作業も時間と作業量を定めれば可能かと思えます
		市内ばかりでなく小旅行(コテージ泊る)。サイクリングなど身体を動かす活動を多く。
		土・日などの余暇活動として簡単に出来るスポーツなど取り入れてみてはどうかと思えます。
		自主生活に力を入れて欲しいと思っています。安定した支援体制(人的)落ち着いた生活ができるようになるため？
		高齢になっても、他人と適度に触れ合え、必要な援助を受け続けられる施設が望ましい。
		現在4人で共同生活をしているが、本人は一人住まいを希望しており、個人生活が可能な形態は考えられないでしょうか。
		基本的な生活習慣等を身につける
		まんねり化せずメリハリある時間の過ごし方など。余暇活動
		我が子でなく、一般的に高齢化を迎えるのでショートステイが気軽に利用できるシステム。余暇活動の場。
		親亡き後の成年後見について
		将来構想
		各自が独立したマンションタイプで住人が集まれる部屋もあり、食事が提供され、管理人(支援員)さんといつでも連絡可能なグループホームを希望します。
		息子が40台半ばで所謂「生活習慣病」が進行中ですので、「メタボ対策」の生活化(特化)を考え、例えば余暇活動や相談をスケジュール化を期待させてください。お願い致します
		趣味を持って生活できるとか？ストレスのない生活を送れるように
3	4	具体的な対策として力を入れて欲しいこと
		担当の支援者については、なるべく変わらないようにして欲しい。
		親が高齢になっても安心して支援が続いていけるように職員の確保育成をお願いします
		病気や向れで日中も何もできなくなった時、いられるような老人棟のような施設ができればいい。もちろん医療関係とも密にして欲しい
		一般の高齢者施設ではなく、障がいのことをよく理解したスタッフ元で過ごさせたい。
		職員のレベル向上(最低限レベルの維持)、若い職員がのびのび働ける環境が必要だと思う。
		自分の気持ちに余裕がないと人を支えることは難しいと思う
		現在関わって下さっている方々にとっても満足しています。いつもありがとうございます。これから先、人が代わっても本人が安心して通えるようよろしくお願いします
		まだ高齢ではありませんが、将来の不安は日頃感じています
		グループホームにおける個室で発生する利用者の事故(発作等による)の原因を把握するため、ビデオ等設置
		特にないのですが、本人もだんだん都市をとってゆき、病気になった時、入院できる病院はあるのだろうか？とか、入院しても本人が治療を理解できずパニックを起こすのではないだろうか等と心配して今います
		休日の過ごし方が、どうしても限られてしまう。
		職業訓練や就労とは直接関係のない場面でのSST。当事者会(カウンセラーさんなど同席で)
		本人の生活の安定があれば、休日や日中の活動の中に外出できる機会が多くあるといいと思
		休日支援としてCHで過ごしたり、ほしのみに行くというのではなく、一人一人に合わせたケアがほしいと思います。
		個々のGHで高齢化に向けてトイレ、手すり、車いす配置など徐々に対策を考えて行ってほしい
		時給を上げていただきたい。せめて昼食代金位は自分で稼いでほしいものです。支援がまだまだ一人前でない職員もいる。真正面からとりかかるときでは
		親の高齢化で段々と帰省の送り迎えも大変になり、本人と過ごす時間も減っていくと思います
		親だけの外出が心細い時に、付き添っていただける支援があると、外出も不安が少なく
		担当職員の交替は頻繁に行ってほしくないです
		グループホーム体験などの施設があると助かりますね
		本人の高齢化は確実に近づいておりとても心配です
		本人が独立していけるだけの収入が得られるか。
		多分、普通よりは高齢になるのは早いと思います。高齢になってからではなく早めに高齢者棟の建設を計画して欲しいと思います。
		支援者が短期で変わらないように。
		現在の人的支援体制、就労支援等に力を入れてください(現実お世話になっています)
		本人が支援者(事業所職員)を少しでも身近に感じるようになってほしい。本人は何につけても要求レベルが低いのですが、それなりの要望を聞き出して力になっていただけるとありがたい。
		息子は軽度の自閉であり、仕事の内容によっては、平人以上に能力(単純作業の正確さ、持続性)があると評価されており、可能ならそれに見合う賃金査定をお願いしたい。
		親も高齢化になるにつれ、今後の支援が気になる。高齢化支援を具体的に進めてほしい。
		本人が高齢化した時の生活が不安

章番号	項目番号	記載されている内容
		特に冬場は帰省の際の交通手段が車しかなく、送り迎えが大変です。どっちか送り迎えだけでもお手伝いしてくれたらありがたいです
		定期検診の血液検査の予防接種など、とてもありがたいと思っておりますが、高齢化への期待も具体的に運動療法・食事療法の支援体制の充実整備というカタチに進行実現できませんか
		家族も高齢で実家に連れてくるのが出来なくなってきています。本人もそれを分かっているようです。帰省できない時休みの時など楽しんで過ごさせていたいただきたい。薬の量も多いようで手が震えてるのが気になります。
		土日の余暇、できるだけ外出できたらうれしいです
3	5	「はるにれの里」への要望(自由記入)
		今後親の年齢も上がっていくにつれ、病気などの心配があり、安心して治療や入院できるように、利用者の預かり場所があるとうれしいです
		はるにれの里を母体にした親子で入所できる施設の運営
		信頼できる職員の育成
		「はるにれの里」で通所、住まいの場、ヘルパーと24時間丸抱えは、連携が取りやすく便利な反面あまり好ましくないのではと思う。あえて他の事業所と連携を取りながら支援を組み立てていくことも検討してほしい。石狩市全体の福祉の向上にもつながると思う。
		ヘルパーさんの利用をもう少しお願いしていきたい(親亡き後のため親以外の人とも行動できる)のですが、なかなか思うように回数を利用できていない。また同性のヘルパーさんとの外出の機会も希望していきたい
		優秀な人材確保が急務。クリスチャンセンターのように未就学児の療育に社会福祉系大学生に参加してもらうなどして障がい福祉に興味・関心を持ってもらうなど工夫することで、福福として社会貢献にもつながるし人材確保の一助にもなるのかなと考えます
		意見・要望(苦情含む)に対する管理者の積極的関与、対応のシステム化。緊急時、非常時を想定した、避難訓練、連絡体制(停電時等)づくりの充実。
		利用者家族の満足度調査への取組が、事業所によってまちまちです。こういったアンケートも家族会まかせではなく、法人として取組む姿勢が必要ではないでしょうか。
		今後も「はるにれの里」を積極的に支援していきたいと思えます。
		本人が心穏やかに、明るく笑顔がでる充実した生活がおくれるように支援していただきたいと思
		福祉的な発想から、サービス業的、ちょっととびな考え方をしてみても良いのでは、売れる、使ってもらえる物作りを考えるとか・・・
		行政とのパイプが細いように思います。意見(親側の意見も)をどんどん伝えて行ってほしい
		一部の方々だけがGHで生活をするのではなく、すべて平等にならないのか、しかし現在の制度では、新規のものは無理であるが、利用者家族との話し合いをもっとすべき。
		生活面で、時間で、仕切ってる事を、少しでも減らしてほしいです。部屋の仕切り無理だとは思いますが、あれは親としてはいいです。
		親宅にも現在の状況を定期的に知らせてほしい。
		休日の支援体制(余暇活動等)お世話を頂いていますが、利用者本人への基礎的なものの支援も必要かと思っています
		就労以上完全自立以下の人達への支援にも目を向けてほしい。
		成年後見人としての人材育成をしてほしい。
		将来構想のビジョンを早く示して欲しい
		「要望」としてお願いした各事項が一つでも多く実現化するよう切望し、お願いしてやみません
4	1	入院互助会について
		今はまだ不要ですが、遠征も年齢が進んでいくわけですから、将来的には必要だと思います
		①必要→役員の入会させる努力がたりないのでは。
		②今は不要→すべての人が加入できる訳ではない。又そのようなシステムになっていないのでは(答えはありません)
4	2	成年後見制度
		今はまだ不要ですが、将来親が亡くなった場合、必要だと思います
4	3	ボランティア活動について
		今はまだ不要かな?と思いますが、職員だけでは手が足りない場合等、家族が手伝うことも必要かと思えます。ボランティアで家族が手伝うことがある場合、事前に学習会(注意点等を学ぶ機会)があるとよりお役に立てる気がします
		必要ですが参加できないのが現状
		①必要→必要ではありますが、親あつての活動にならない様に。
		家族は家族、まったくちがう、場所で販売等の手伝いをすべきでは。利用者は保護者であることに気がつくはず
		人へのかかわりだけではなく、夏は草取り、冬は除雪など、各親の会を中心とした取り組み方
		[家族を中心にしたボランティア活動]…ボランティアではなく有償に。何に対する臨時の手伝いなのか?利用者に対する関わりだとすると有償にし、責任を持たず方が良い。
		親の年齢が傘寿の故、持病との闘いなどで手いっぱいでは本当にすみません。ただしもちろん体調が何とかなる場合は参加します
		見学会/学習会について
		必要ですが参加できないのが現状
		①必要→少ないのでは、今後知らないではすまない制度をもっと学ぶべき
		親の年齢が傘寿の故、持病との闘いなどで手いっぱいでは本当にすみません。ただしもちろん体調が何とかなる場合は参加します
5	1	将来の不安はどんなことですか
		全部きになる
		⑤高齢になったときに、医療的なケアをしてくれる高齢者に特化した施設が必要かと思っています。入院などせずに環境を変えず、点滴など治療が受けられると本人も不安がないと思いま
		親が高齢になったり死亡した時も、利用者本人が将来にわたって支援し続けてもらえるかが不
		国の法律すらコロコロ変わる今の時代ですから、制度の変化は不安です

章番号	項目番号	記載されている内容
		高齢化に向けて老人棟のような施設を建てて欲しい
		③経済的収入(職員が利用者の高齢化についてゆくだけの知識を学ぶ必要あり)
		今は父親が後見人になっているが、父親が死亡した後どうするか。例えば「はるにれの里」や「ゆい」等に引き継げれば有難い。
		貧困によって「自閉症を治す薬」や手術を強制されるのではないかという不安がある。将来、収入を国に頼ることになった場合など
5	3	利用者ご本人と家族の関係性
		③親の高齢化によって、そうせざるを得ないと思います。
		利用者が喜んで生活できる日中生活、GH生活を望みます。親は少しずつ手をはなしていけるように願っています。
5	4	将来に対する考え(自由記入)
		家族会、保護者会、育成会と会が多すぎだと思う。集約できないのか。特に保護者会と家族会の違いが分からない。
		親が元気なうちは面倒が見たい
		現在は自宅で特に問題はないが、ショートステイ、体験入居など、徐々に増やして生活していくことが望ましいと思う。
		ボランティア活動については、臨時の手伝いの範囲がよくわからない。利用者に関わるのであれば研修もしっかりうけなければ不安だ。また回を重ねるごとに慣れたボランティアが職員に口出しするようになるのでは？責任の所在もあいまいであり慎重に進めるべきだと思う。家族が法人に任せきりでなく、関心を持ち福祉に積極的に関わるとい意味では良いことだと考える
		いつも大変お世話になりありがとうございます。現在10代後半、20歳を目前にして少しずつ自立に向けての支援を意識していきたいです。親亡き後も幸せな人生を送れるよう、法人のみならずのご協力、ご支援をよろしく願います。はるにれの里にお世話になれて本当に良かったと思う日々です。これからもよろしく願います
		親なき後も、豊かな生活環境の継続を希望します。
		私は職員の皆さんがいつでも本当に良くやって下さっていると感謝しております。いつまでも退職しないでくださることを願っております。
		余暇としてポケットを利用しています。グループホームへ入ってからは生活介護事業所の職員からサービスの様子を聞いています。毎回とは言いませんが、1~2か月に一度あるいは「しりぼっけ」通信と一緒に良いので本人の様子を知らせて欲しいです。非常に不満に思っています。子どもの生活の質を上げるためには、できる事は協力したいと考えている家族は多いと思うので、事業所はもっと遠慮せずに声を上げてほしいです。
		子供が生き生きと地域で暮らせる様に親としてできる限りの事はしたいと思います。
		信頼関係はありつつも、本人が親元を離れて生活することも必要かと思う。
		入所したばかりなので本人も家族も面会していない状況です。我慢の状態です。
		GH利用者が、いつでも、フラッと立ち寄って、自由に時間を過ごせるような施設、古いおうちを家族会中心に取得するなんて、・・・出来ない事でもないと思うのですが。
		何れにせよ親とは別れる事になります。将来の事を、事業所(法人)と良く話し合うべき。
		本人と家族の関係を密にとはいつも思っていますが、親の方が高齢になりつつ有り思う様に出来なくなって来ています
		親の学習姿勢が非常に低い。様々に変わる制度に法人も学ぶ機会を設定すべき、知らないでは、利用者の成長もないと思う。家族会の出席率が低いことがその表れか、様々諸事情がある特に今は、とても良い関係なので、できれば、夫の協力がほしいです。
		親亡き後兄弟姉妹には金銭的にも精神的にも少しの負担もかけさせたくないと考えています。負担にならないか不安に思います。
		親亡き後は、①姉妹とその家族の善意に委ねる ②グループホームに入る この他にどのような選択肢があるのか模索中です。
		一人暮らしなので帰省した時になにかあると大変なのでなかなか帰省が出来ない状態です
		本人と先生型の個々の距離を、誠に勝手ですが、若い可能性いっぱいの方からどうか縮めてやって下さいませんか。本人が「はるにれが私のふるさと(OR実家)」と思い込むようになればと本気に日々願っております。(蛇足ですが火葬場が近い83歳の悲観です。どうか合掌
		親が高齢で兄弟姉妹が携わっておりますが、分からないことが沢山あります。離れている月日が長く職員の方々より分からないと思います。
		自分自身仕事とか経済的理由、それに時間的な問題が多くなかなか協力できないので、努力はしていきたいと思っています。